

牛を飼養する皆さまへ

ランピースキン病ワクチンを接種した牛に由来する牛肉は
アメリカ合衆国への輸出が制限されています！

<ランピースキン病>

ランピースキン病ウイルスによる**牛の伝染病**。主に**蚊**、**ハエ**、**ダニ**の媒介による機械的伝播、感染した牛の移動により感染が拡大します。

<症状>

全身の皮膚の結節や水腫、泌乳量の減少、発熱等の症状を呈し、**生産性に影響**を及ぼす病気です。



写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所

<侵入防止対策>

- ・毎日の**健康観察**(早期発見・早期連絡・隔離)
- ・**害虫の駆除**(殺虫剤散布・粘着シート活用)
- ・**清掃・消毒**(整理整頓)

<国内の発生状況 (12月3日現在) >

14農場で発生を確認

- ・福岡県内 13農場(乳用牛11、乳用・肉用牛1、肉用牛1農場)
- ・熊本県内 1農場(乳用牛1農場)

福岡県でワクチン接種が始まりました

当該ワクチンを接種した牛に由来する牛肉に限って、
当面**アメリカ合衆国向け輸出が制限**されます。

留意事項

当該ワクチンを接種した牛には、福岡県からワクチン接種証明書が発行されますので、当該**ワクチン接種牛**を売買、市場出荷、と畜場出荷等をする際には、**ワクチン接種証明書**の受け渡しを確実に行ってください。